



- 2. 会長挨拶
- 3. 静岡県健康福祉部理事挨拶
- 4. 保育士養成施設との意見交換会
- 6. 民間園長研修会
- 8. 育児相談研修会
- 9. 施設長研修会
- 10. ぶらんこ・会員園紹介
- 13. 新規加入園紹介
- 14. 保育園・こども園の社会貢献活動
- 16. 委員会報告
- 18. 各支部青年部会活動報告記
- 19. 支部だより



会長挨拶



静岡県保育連合会会長

土山雅之

令和六年の幕開け早々に、能登半島では大地震が襲い、多くの方が犠牲になり、また避難生活を余儀なくされている方も多々いらっしゃいます。その皆様に心よりお悔やみ、お見舞いを申し上げます。

さて、日頃より、静岡県保育連合会の各事業につきまして、皆様のご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。令和五年五月より新型コロナウイルスも五類に変更され、普通の生活を取り戻して約一年が経過しました。園における保育や様々な行事もやっと普通の形で行うことができ、子ども達も笑顔、職員の笑顔もマスク越しではなく、表情豊かに触れあうことができることが、いかにありがたく大切なことかと実感しているのではないのでしょうか。

令和五年は「こども家庭庁」がいよいよ本

格的に動き始め、四月一日には「子ども基本法」が施行され、こどもまんか社会の実現に向けて一歩を踏み出しました。十二月には「子ども大綱」が示され、各地方公共団体は「こども計画」を策定、実施することが義務づけられました。静岡県をはじめとして、県内の各市町は令和六年度中に計画を立て、令和七年度から新しいこども子育て支援として施行される予定です。今まで複数の省庁が所管していた子どもに関する諸施策が一つになり、今まで以上に子ども施策が向上していくことを期待されます。

さらに少子化はもう待たないという状況になっていきます。令和五年の全国の出生数は推計速報値では七十二万六千人程度となることがわかりました。少子化のスピードが国の想定より早まっており、初めて八十万人を割り込んだ令和四年の減少幅よりさらに拡大していると考えられます。令和六年の入園希望人数に影響が出てきている市町もあるかと思えます。従って今までの待機児童問題から、定員割れで施設の運営を工夫していく必要も出てくるでしょう。

また、令和六年度は「すべてのこども」に対する切れ目のない支援の一環として「誰でも通園制度」が全国百五十市町村で試行的に開始され、令和七年度においてはほとんどの市町がとり組まなければならなりません。令和六年度は準備期間として、各市町、各園でも検討することが肝要です。

このように、国の子どもに対する施策が大

きく動き始めており、さらに少子化によって、一人一人の子どもに対する周りからの思いが大きくなっていく現代、各園、各保育者とも社会から乳幼児教育の専門家集団としての期待には大きなものがあると思います。

静岡県保育連合会としても今後は保育者の資質を高めるためのキャリアアップ研修を継続し、県内の保育の底上げを図っていきたいと思います。ぜひ皆様のご理解とご協力をお願いし、私の所感とさせていただきます。

表彰

おめでとうございます

令和五年度に、県内保育園・こども園関係者で、上部団体から表彰を受けられた方々は、次のとおりです。

皆様の長年にわたる児童福祉へのご貢献が認められたものであり、心から喜び申し上げます。

感謝と敬意を表しますとともに、これからも益々ご活躍されますことを祈念いたします。

◆全国保育協議会

*会長表彰

島田市 月坂保育園

園長 奥川むつみ氏

浜松市 生命の樹保育園

主任保育士 山田 真理氏

御挨拶



静岡県健康福祉部理事（少子化対策担当）

瀬 寄 浩 二

早春の候、ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。会員の皆様におかれましては、日頃から本県の子ども・子育て支援施策の推進に格別の御協力をいただいておりますことに、厚くお礼申し上げます。

昨年は新型コロナウイルス感染症の位置づけが五類感染症へ移行し、社会が新たな日常へと前進していく中で、国においてはこども基本法が施行され、こども家庭庁が創設された「こども政策の元年」でありました。

本県におきましては、令和四年度に、県内を始めた保育所での不適切な保育の事例が発覚したことで、保育現場の多忙な働き方に見直しを求める声が挙げられました。県では、保育士の負担軽減を図るため、保育所等に対して、業務全般の見直しや、ICT活用のための巡回支援を行い、保育士の働きやすい職場環

境づくりを支援するほか、保育現場でのヒヤリハットを収集して皆様と共有し、不適切な保育の未然防止に取り組んでいくところです。

また、保育士や保護者の声を迅速に受け止めるための「静岡県保育の総合相談窓口チャーム」を開設して、この三月で丸一年となります。多忙な保育現場の環境を改善し、安心して子どもを預けられる保育の場を築くために、皆様と連携して取り組んでまいりたいと思っております。

さて、来年度から、永年にわたり望まれていた一歳児及び四・五歳児の保育士の配置基準の改善が順次行われることとなります。その他、国が策定した「こども未来戦略」には、「こども誰でも通園制度（仮称）」の創設などが明記されており、県といたしましても、こうした国の動きに呼応し、子育て支援の体制を強化してまいります。

そのため、県では、子育て支援施策についての「ふじさんっこ応援プラン」と、子ども・若者の育成支援、青少年施策をとりまとめた「ふじのくに若い翼プラン」を統合し、本県の子ども・若者施策の新しい基軸となる「静岡県こども計画（仮称）」を策定いたします。来年度も、社会全体で子ども・子育てを応援する「生んでよし、育ててよしのふじのくにづくり」を進めてまいりますので、引き続き皆様の御協力を賜りますようお願いいたします。

結びに、一般社団法人静岡県保育連合会の益々の御発展及び関係の皆様御健勝と御活躍を心から祈念申し上げます、挨拶いたします。

富士市 富士見台リズム保育園

保育士 野澤 広枝 氏

磐田市 いずみ第二保育園

保育士 太田 啓代 氏

磐田市 いずみ第二保育園

保育士 栗倉 輝美 氏

◆日本保育協会

* 永年勤続表彰（職員）

静岡市 城北保育園

保育士 谷河 麻里 氏

富士市 松岡保育園

保育士 松井 美智 氏

浜松市 初生保育園

保育士 小笠原尚子 氏

◆全国私立保育連盟

* 保育功労賞

静岡市 のぞみ保育園

園長 井出みや子 氏

富士市 富士見台リズム保育園

保育士 佐藤 美代 氏



令和五年度 保育士養成施設との意見交換会

令和五年七月十九日に静岡県総合社会福祉会館シズウェルにおいて、静岡県保育連合会の正副会長及び理事・研修委員と県内及び周辺県の保育士養成校十七校と静岡県社会福祉人材センターしずおか保育士・保育所支援センターとの意見交換会が行われました。昨年度までの参加者に加えて、静岡県保育連合会の理事も加わり、より深く、より多くの意見交換のできる場として有意義な時間となりました。

土山雅之会長、吉川慶子県保育士会長のあいさつの後、しずおか保育士・保育所支援センターより、活動内容の説明がありました。その後、二つのグループに分かれ「就職について」「実習について」を各メインテーマとして、活発な意見交換が行われました。主な意見は次の通りです。

《グループ・就職について》

- ① 進路について
(養成校参加者より)
・実習で自信を無くし、保育士に向いていないと感じる学生もいる。
・実習後に向いていないと感じ、一般企業や行政での就職を目指す学生もいる。
- ② 実習について
(養成校参加者より)
・実習先の丁寧な対応に安心する学生もいる

一方で、厳しい指導に自信を無くしてくる学生もいる。
・一人の学生が数か所の園に実習を断られ実習の受け入れに苦慮した。
・実習を断ったことがあるか。また実習に対する園側のスタンスは。



- ③ 入職前健康診断について
(養成校参加者より)
・入職前健康診断について、必要な時期や検査内容、費用負担について園にバラつきがあるが統一できないか。
(県保連参加者より)
・園側も市町や法人によってばらつきがあり、その根拠は曖昧である。県保連として行政に確認をとり、次の機会に回答する。
 - ④ 求人について
(県保連参加者より)
・引き続き有効求人倍率は高く、職場を選べる状況にあるが、学生はどのような認識でいるか。
(養成校参加者より)
・求人が多数あることは学生に伝えている。
- (県保連参加者より)
・実習については、いつでも受け入れ可能な状況を作っている。
・リーダー職員が実習担当し、年間二名と決めている。
・複数名が重複した場合には時期をずらしてもらう。
・保育がかけがえの無い仕事だと知って帰ってもらいたい。
・安心して実習できるよう担当職員を決めつつでも相談できる体制を作っている。





- ・自身の希望の園に求人があるか確認するよう伝えていく。
- ・求人ナビ（J-NET）へ登録してある園は、学生が検索して閲覧することができる。
- （県保連参加者より）
- ・紙媒体での求人票をどのように周知しているか。
- （養成校参加者より）
- ・紙媒体の求人票もデータ化し、ポータルサイト（学生サイト）で求人を確認することができる。
- ・求人が提出された時点で学生にメールで通知し、詳細はキャリア窓口で確認、相談ができる。

《グループ2・実習について》

- ① 実習記録（実習簿）について
（養成校参加者より）
- ・オリエンテーション等で記録や保育について事前説明があると、実習までの見通しも持ちやすい。
- ・エピソード記録形式にして三年経過したが、学生個人の学力やセンスの差が出る。
- ・記録では何を重要視しているか。
- （県保連参加者より）
- ・担当保育者はエピソード記録の方が具体的な指導がしやすい。
- ・自分の心に残った事柄を言葉にして記録してほしい。
- （養成校参加者より）
- ・記録の方法について、ICT化や修正ペンの使用不可等、園によつての差があり学生に戸惑いがある。
- ・日誌をPCで作成しているが、園側の意見はいかがか。
- （県保連参加者より）
- ・実際にPCで作った記録を見たが見やすかった。園側は養成校の意見を汲んで対応したい。
- ② 実習全般について
（養成校参加者より）
- ・休憩時間の取扱いについて園ごとに異なっている。
- ・園側と養成校側が共同して取り組んでいきたい。

- ・実習前の学生の緊張度は非常に高い。
- （県保連参加者より）
- ・実習生の受入れはできるだけやわらかい雰囲気を作ることが必要だと感じる。



《おわりに》

学生が社会人として、また専門職としての第一歩を安心して踏み出すためには、養成校と施設が相互理解を深めるのみならず、対話のできる関係性の構築が不可欠です。今後もあり良い人材育成と質の高い保育の提供の実現のためには、定期的な意見交換の場や日々の情報共有を活発にすることが求められます。

令和五年度 *民間園長研修会*

期 日 令和五年十一月二十日(月) ~ 二十一日(火)

会 場 熱海後楽園ホテル

参加者 一五二名

今年度の民間園長研修会は熱海市の後楽園ホテルで開催されました。一日目の講義①は講師に静岡県健康福祉部こども未来課長鈴木安由美氏による「保育行政の動向について」ということで、静岡県の取組についてご講義いただきました。県の子育て支援の方向性をかわきりに、少子高齢化の現状や結婚支援に力をいれていること、出合いの機会の提供や、その後の子育てをするうえで将来のライフデザインを描く等、子育て世代が安心して子育てできる基盤づくりが目的とのことでした。その他にも保育人材の確保、離職防止と定着促進等を目的とした事業や潜在保育士の復帰支援事業も行っているそうです。その他には、保育士処遇改善として保育等キャリアアップ研修の本県における受講状況もお話して頂きました。最後に静岡県内における不適切保育についてお話があり、不適切保育防止に向けた取組として研修や未然の防止として事例の共有、さらには保育施設等からの通報相談窓口の設置など施設側にとっても大変有意義なお話をいただきました。



講義②は講師に全国私立保育連盟 保育制度検討会単価検討部会 部会長 大森康雄氏による「公定価格の仕組み」についてご講義いただきました。公定価格の歴史から始まり子ども・子育て支援新制度の概要といったお話に続き、公定価格は平成二十六年まででの保育所運営費がベースになっています。公定価格の基本分単価に含まれる科目の内訳は大きく分けて①人件費、②管理費、③

事業費の三つです。①人件費のうち常勤職員給与は「本俸・特別給与改善費・特殊業務手当・諸手当・社会保険事業主負担分」からなり、非常勤職員雇上費は「嘱託医手当・嘱託歯科医手当・非常勤職員雇上費(保育士、事務員、調理員)・年休代替要員費・研修代替要員費」からなります。②管理費は職員数に比例して積算されるものは「旅費・職員研修費・被服費・職員健康管理費・業務省力化等勤務条件改善費」、また園児数に比例して積算されるものは「保健衛生費」、また一施設当たりの費用として積算されるものは「補修費・特別管理費・苦情解決対策費」からなります。③事業費は一般生活費として「三歳未満児のみ給食材料費・保育材料費・光熱水道費・炊具食器代」からなります。

加算・調整部分の内訳は①加算部分一のうち人件費は「処遇改善等加算Ⅰ・三歳児配置改善加算・休日保育加算・夜間保育加算・チーム保育推進加算」、管理費は「減価償却加算・賃借料加算」、事業費は「副食費徴収免除加算」からなります。②調整部分のうち減算部分は「分園・施設長を配置していない・土曜日を閉所する・定員を恒常的に超過する場合」となります。③加算部分二のうち人件費は「主任保育士専任加算・療育支援加算・事務職員雇上費加算・高齢者活躍促進加算・栄養管理加算・処遇改善費等加算Ⅱ・処遇改善費等加算Ⅲ」、管理費は「施設機能強化推進費加算・小学校接続加算・第三者評価受審加算・冷暖房費加算・除雪費加算・降灰除去費加算」か



らなります。他に地域区分のお話、保育基本分単価内訳試算表の説明、民間給与等改善費から処遇改善等加算に変わった経緯のお話をお聞きし、人事院勧告分と処遇改善費等加算Iの支給方法によるメリット・デメリット等のお話を聞きました。

公定価格という言葉は園の運営者である私たちにとり身近なのですが、複雑な部分が多く理解に苦しんでいましたが、こうして改めて講義をお聞きしたことでとても勉強になりました。

講義③は岐阜県民間保育園・認定こども園連盟研修部長・社会福祉法人堂角舎かみいしづこどもの森園長の脇淵竜舟氏による「保育所供給過多時代を生き抜く〜PR（広報）という武器を携えて〜」というテーマの講義でした。

少子化が進む中、園としてどのような方法で集客につなげることができるのかという課題に一つの手段としてPR（広報）という武器があるとお話で「広報」と「広告」との違いやその客観性や公共性の特徴と訴求力について考察され、その訴求対象は、在園児の保護者であることやPRを活かすには、何よりも保護者へのサービスが必要であることを力説されました。

また、PRの訴求力を高めるためにも保育内容の充実や子供の成長にとって大切な保育環境の設定やバランスのある教育環境が必要であること。保護者への情報提供のあり方の工夫、更には、外部イベント等を行い園の特徴を積極的に情報公開する広報活動を行うことで保護者に興味と満足感を持ってもらうことにより集客する実践に基づいた経営戦略を展開されました。

結局、PRという武器が、その効果を存分に発揮するためには、園自体が園児も保護者も保育者も三方が、ワクワクするような魅力的な園になるような必要があるとも語られました。実践の中で築かれたこの経営は、私達に非常に有意義な教示を与えてくれる講義だと感じました。



令和五年度 育児相談研修会

期 日 令和五年十一月一日(水)

会 場 静岡音楽館A O I 7階「講堂」
テーマ

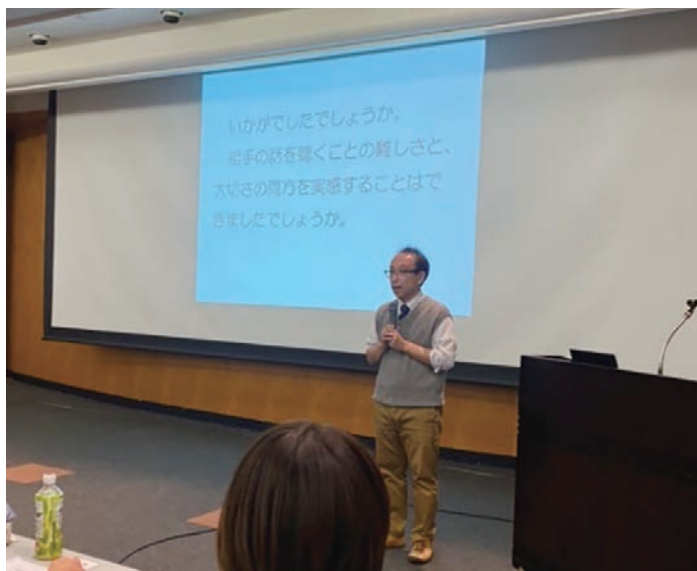
『保育者のコミュニケーションを考える
～あなたかな人間関係を育むことを
目指して～』

講 師 東海大学文化社会学部

教授 有沢孝治 氏

静岡市にある静岡音楽館A O Iにて育児相談研修会が行われました。県内から一〇八名の多くの方が参加し、会場は満席状態の中で講義が始まりました。

午前はコミュニケーションの基本を講義していただき、午後はロールプレイングを通してスキルを行いました。



コミュニケーションには聴くことが重要で、相手の立場に立って聴くためには、最後まで聴く、感情に表情を合わせる、あいづちの仕方、大切な言葉は繰り返し伝え聴く等々、気をつけたいスキルがあること。さらに会話は「聴くこと」「話すこと(伝えること)」を織り交ぜて意味をもつので、肯定的で柔軟的な考え方をすると人間関係が楽になること等々、保護者や職員間で良好なコミュニケーションを培うための基礎になる大切な考え方を学ぶことができました。

午後は、グループに分かれ、相手との距離の取り方、座席の配置、視線の交わり方等々、疑似場面を想定してコミュニケーションに大

切なスキルを体験しながら学ばせていただきました。

保育者は、子どもの成長と保護者の心を支えて適切な育児などできるような支援することが求められています。これを実現のためには、保育者のメンタル維持が重要です。土台となる保育者自身が自分を大切にすることは、保育活動全般に関わるので、まずは保育者自身が自分自身を大切にしていくことだとも教えていただき、明日への活力となる有意義な研修となりました。



令和五年度 施設長研修会

施設長研修会が、十二月十九日（火）静岡市駿河区のグランシップ会議ホール・風で行われました。子どもの最善の利益を保障し、かつ安定した施設運営・管理を行うため、施設長としての役割を再認識し資質向上を図ることを目的として研修が開催され、静岡県内より二四九名の施設長の皆さんが参加されました。研修では、四つの講義が行われました。

講義① 『実践から見る園小接続』

講師 静岡大学教育学部 教授 田宮縁氏
 保育園、こども園と小学校の接続について現場で実践したことを具体的な事例をふまえてご講義いただきました。遊びと学びでは、主体的・対話的で深い学びが重要、「何を学ぶか」だけではなく「どのように学ぶか」も重視しなければならぬなど、小学校との接続について大変参考になるお話を聞かせていただきました。

講義② 『保育人材養成会議活動報告』

講師 みそらこども園 園長 東山和樹氏
 全国保育協議会の保育人材養成会議で議論、研究をした経験や、ご自身の野球生活の中から体験したことなどを交えて、保育人材の確保についてご講義いただきました。自園での取り組みや実践したことで発見できたことなど



キャリアやすくお話しいただきました。職員が定着することによって、保育の質が向上し人材の確保につながるのとことでした。

講義③ 『「叱る依存」の理解と対応』

保育の質を高める基礎リテラシーとして、講師 臨床心理士・公認心理師 村中直人氏「叱る」という事を臨床心理士・公認心理士の観点よりお話しいただきました。特に「叱る」という事が「叱る側のニーズを満たす側面を持つ」ことから「叱らずにはいられない」依存的状况に陥ってしまう事がある。そして子どもたちにとっては「叱られる」事により「防衛モード」と言う「人の学びや成長を妨げてしまう事」につながりかねないという事。またよく言われる「叱ると怒るは違う」とい

う事も子どもたちからすると一緒であるという事等、貴重なお話をいただきました。その予防に関しては「行動の前の環境整備や対応」をしっかりとし、予測力をきたえること。そして保育士が「叱る」を手放し、ワクワクした気持ちの「冒険モード」が子ども達を成長させると締めくくられました。

講義④ 会長講話 『保育情勢報告』

講師 静岡県保育連合会会長 土山雅之氏
 現在の保育における情勢報告をお話しいただきました。特に今現在、多くの方が注視している「こども誰でも通園制度」については細かくお話をいただき、今後の制度の進み方や、一時保育等との違いについても判り易く説明していただきました。



富士市認定こども園 富士保育園 園長 後藤 匡先生

令和五年六月二十五日に富士市八幡町にある富士保育園の落成式が行われました。

社会福祉法人 富士育英福祉会が運営する富士保育園は一九五七（昭和三十二）年に開設し、園舎の改築や定員の増減などを重ねながら、地域の多くの子どもたちを送り出してきました。在園児や卒園児、職員にとって思い入れのある建物でしたが、近年、老朽化が進んできたため解体を決定し、二年間の工事期間を経て、このたび新園舎の竣工に至り、またそれに合わせて昨年、定員一六〇名の認定こども園として施設変更も行いました。当日は、新園舎の完成を祝って落成式および祝賀会が執り行われ、約六〇名の関係者を招いて節目を祝いました。また、落成式前には、内部のお披露目も兼ねて施設の内覧も実施しました。

旧園舎の園庭に建てられ、上に伸びる形で建てられた施設となる新園舎は鉄筋コンクリート造三階建て、敷地面積が一、九九九平方メートル。延べ床面積約一、二〇四、六五平方メートル。一階に〇歳児、一歳児保育室と給食室二階には二歳児保育室と多目的ホール。三階フロアは全てが幼児クラスの保育室となっています。新園舎での生活自体はもう一年になりますが、使う中で出てくる「ここがもうちょっと」な所も色々工夫しながら使い、

素敵な園舎になっていければと思います。



園舎と同じく今年度より園長も交代し、富士保育園の新しいページを足していく事になります。

前園長でもある理事長の後藤弘明先生は毎年、入園説明会や新年度の進級式で保護者に話す「三つの保障」の話があります。保育施設ではそこを利用する園児・保護者に対して

三つ保障するものがあり一つ目は「安全の保障」大切なお子様を預かるうえで最低限なこと、二つ目が「発達の保障」通ってくる子どもたちに専門職として出来るだけの働きかけを行っていく事、そして最後の三つ目に「幸せを保障してあげる」こと、これが一番難しいとしつつも職員も園児も保護者もできれば地域の人も富士保育園に関わっている時間が幸せで、そこに寄り添える園であればと願っています。

子どもたちが子ども時代を一生懸命に過ごせるように園が果たす役割を理解し、保育目標である「自分で考え、行動し、責任が持てる子」を育む保育をしていくために乳児期と幼児期でしっかりと丁寧な保育をこの園で行っています。



藤枝市 市立前島保育園 園長 小川友美先生



今回訪問したのは、JR藤枝駅より南西一〇kmに位置する前島保育園です。昭和五十二年に開園した定員一五〇名の藤枝市の市立保育園です。駅から徒歩一五分に立地することから利用者の中には市外に通勤されている方もいるとのことでした。保育園が開園した当時は周辺に農地が広がっていましたが、ここ数年で宅地化が進み園周辺には住宅が次々と出来てきています。大通りより少し入った場所に建つ平屋建ての園舎は、平成十四年に建て替えられ、広々とした園庭では子どもたちが元気に遊んでいました。園内には子育て支援センター「くるるん」を併設しており一日平均一五組が利用されているそうです。

当日は、園長の小川友美先生から保育園の概要や周囲の環境などをお聞きし

た後、園内を案内していただき、子どもたちの様子や施設内を見学させていただきました。園舎のどこからも園庭を見渡すことが出来るとも開放的で、遊びの空間、生活空間が十分に確保されています。また、広い園庭の一部に畑が作られ、食育活動も熱心に行われていました。園庭は現在改造中（構想中）というところで、今後の変貌がとても楽しみです。



障がいのある無を問わず子どもの成長を支援していくため「ムーブメント教育」を取り入れています。ムーブメント教育とは、遊びを原点とし「からだ」「あたま」「こころ」の行動全体に関わる調和のとれた発達援助の実践法です。当日も年長児クラスの子どもたちが遊戯室で実践しており、鮮やかな布を纏った子どもたちが踊る姿や、大きなブロックやマット、パラバルーンなど様々な物を工夫して自由に遊ぶ子どもたちの姿を見ることができました。その他のクラスでは、発表会が近いことから劇の練習を楽しそうに取り組んでいる様子を見ることが出来ました。

乳児のクラスでは担当制保育が行われており、子どもと職員が安心してくつろげる空間で保育が行われていました。私たちが伺った時も子どもたちの表情がとても豊かで、穏やかに保育が行われていることがよくわかりました。また、職員の皆さんが落ち着いて働いている姿がとても印象的でした。

最後に、年長児クラスの子どもたちが園庭でパラバルーンの演技を見せてくれました。途中から、園長先生も飛び入り参加し、子どもたちの演技を盛り上げてくれました。少子化の中、園児数が減少しているようですが、前島保育園は、素晴らしい子どもたちと、笑顔があふれる先生が集まった保育園でした。年末のお忙しい中取材に対応していただきました小川園長先生はじめとする職員の皆さまには心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。

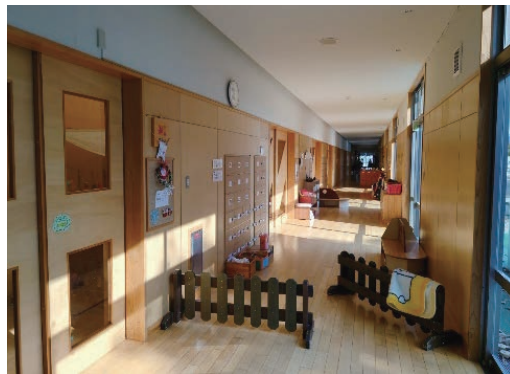
菊川市 みなみこども園 園長 落合孝行先生



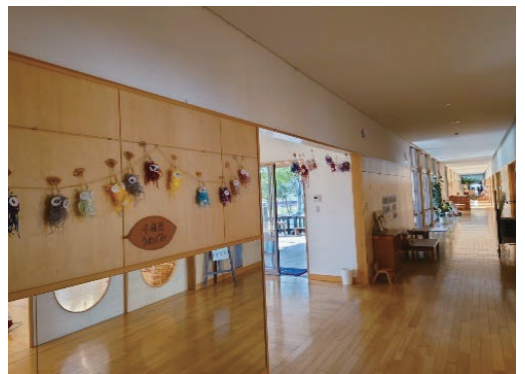
様子が伺え、とても温かみを感じました。園長先生にお話しをお伺いした際に今取り組んでいる事と、今後取り入れようとしている取り組みのお話しを聞かせて頂きました。その

今回、西部地区「ぶらんこ」で訪問取材をさせて頂いた園は、菊川市の南部に位置し、田畑の広がる落ち着いた雰囲気の中で、園庭もとても広く素晴らしい保育環境だと感じました。玄関を入るとすぐに収穫した大根が干してあり、また、食育の中で味噌作りを行っている

中でITCに力を入れており、iPad等導入し、職員間の連絡事項やノンコンタクトタイムなど工夫をしている様です。また、来年度から以上児を対象に「サークルタイム」を取り入れ、サークルタイムでの対話を通して、子ども達が「社会」における活動やルールを考え、この時間を通して「自分たちが生きている社会（園、クラス）は自分たちが作っている、変える事ができる」という経験を提示していこう



と取り組まれているとお話しを頂きました。また、色々なことを子どもも大人も一緒に、あーでもない、こうでもないという楽しみながら試行錯誤していくことで、「毎日、子どもも大人も身体と頭を使って遊びきったと思える、そして、寝る前に布団の中で、明日はみなみこども園で「あれをしよう、これをしよう」とワクワク・ドキドキしながら眠りにつく」そんな教育・保育を提供できる園にしていきたいと語られておりました。お忙しい中に快く取材させて頂きました、落合孝行先生をはじめ職員の皆様には心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。



新規加入園紹介

令和五年度に新規会員となった園のご紹介

はなみずき保育園 園長 岡田涼香

田方郡函南町 保育園 定員六十人
社会福祉法人 栄和会が運営する三つ目の保育園として開園しました。「想いあい、育ちあう」を保育理念に掲げ、子ども・保護者・保育者すべての人が日々の関わり合い、気づきを通してお互いに育ちあい成長していける園を目指します。

高嶺の森のこども園 園長 鈴木晴美

御殿場市 認定こども園 定員九十人
「自然」「動物」「英語」「保育留学」をキーワードに新たな新世代型のこども園として、また、地域に愛されるこども園として未来を担うこども達を大切に育てています。森に囲まれた広い芝生の園庭で、動物や自然との触れ合い、色々な人との交流や経験を通し、のびのびと遊び、自分で考えて行動できる子を目指して保育しています。こどもが真ん中の丁寧な保育を心掛けています。

誠愛保育園 園長 武内美穂

富士市 小規模保育所 定員十八人
リノベーションした空き家を活用した小規模保育園。言葉のやり取りを大切にしコミュニケーション能力を育てながら、真心込めた

保育を行っています。同法人の幼稚園とも連携しながら様々な自然体験も経験しています。

プティ森町園 園長 濱田香苗

周智郡森町 保育園 定員七十人
周智郡森町に五十年ぶりに新設された認可保育園です。地域の方々から暖かいお声掛けをいただき、共に子どもたちを見守っていただいています。園の目標「表現力豊かな子・思いやりのある子・意欲的な子」を目指しひとりひとりと向き合った保育を心掛けています。

みみ・あんふあんしゅしゅ園長 森田サキコ

浜松市中央区 保育園 定員六十人
「たべる」「ふれあう」「あそぶ」を保育の基本とし、子どもたちが主役として生活できる保育環境づくりに力を入れています。遊びは生きる力そのもの。生きていく力そのものをすべて遊びから感じ学び、楽しみながら身につけていく保育環境を大切に行っています。そして、子どもたちひとりひとりの発達を見極め、発達を促す保育の実践と、ひとりひとりに丁寧に関わることをしています。人格形成において、もっとも大切な乳幼児期に、しっかりと愛着関係を築き、子どもたちひとりひとりが存在を認めてもらい受け止めてもらいながら、安心して生活し成長していけるよう、これからも関わっていきます。

えんのき保育園 園長 鷲巣豊海

浜松市中央区 小規模保育所 定員十人
えんのき保育園は、〇～二歳対象（定員十名）の小さな保育園です。私たちの理念は、「心の笑顔」を育むこと。地域の皆様と手を取り合い、大人も子どもも笑い合えるような環境を作りたいと考えています。

ゆりのき保育園 園長 米澤真弓

浜松市中央区 小規模保育所 定員十二人
ゆりのき保育園は、子どもたちが持つそれぞれの個性を大切にする保育園です。遊びや学びを通して一人一人と丁寧に向き合い、子どもたちの心と笑顔を育んでまいります。今の子どもたちにとって必要なのは、あるがままの姿を受け止めてくれる人や場所だと思えます。これから自分らしくのびのびと成長できるように、親御さんと一致団結しながら、誰もが安心できる環境を提供していきます。

ヒーローズ湖西保育園 園長 松岡訓子

湖西市 保育園 定員百三十八人
ヒーローズの保育理念「豊かに生きる力の基礎を育てる」のもと、子どもたち一人、ひとり向き合い向上心や自己肯定感を高める保育を目標としています。湖西市役所の目の前にあり、近くに警察署、消防署もあり良好な立地条件です。大規模園ではありませんが、アットホームな保育園を目指し子どもたちに寄り添い保護者の方にも寄り添う事を心がけています。

保育園・ほぐも園の 社会貢献活動

(子育て支援啓発活動事業
助成金交付事業)

第十五回 三島市ほぐまつり

令和五年九月二日(土) 三島市楽寿園において、「第十五回三島市ほいくまつり」を開催しました。このイベントは三島市民間保育園園長会主催・三島市共催で行い、市内の公立の二十二ヶ園の保育園・認定こども園が協力して開催しています。目的としては、乳幼児期の親子が保育施設での遊び・教育に触れ、保育施設に対する理解を深めてもらい、保育施設の姿を知ってもらうこと、また合わせて親子の触れ合いの場、子育て支援の場として実施しています。各園のブースはなるべく経費をかけずに廃材などを中心に、普段の保



育でも楽しめるような内容となっています。開会式では主催者代表として杉村伸二郎会長のあいさつの後、来賓の三島市長の豊岡武士様・三島市議会議長の藤江康儀様・衆議院議員の細野豪志様よりご祝辞をいただき、静岡県議会議員の宮沢正美様・伊丹雅治様、楽寿園園長長渡辺哲也様にも出席していただきました。その後、各園の保育者たちが趣向を凝らしたブースがオープンし、工作やゲームなどで参加した親子達が楽しい時間を過ごしました。園長会で推進しているSDGsについては、各ブースに関連するロゴを掲示して子ども達にも興味を持ってもらえるような取り組みをしました。厳しい暑さの中での開催となりましたが、テントを昨年以上に設置し暑さ対策をしながら、参加した子育て家庭一八二三名の笑顔があふれるイベントとなりました。参加した在園児の中には前日から「明日のおまつり楽しみ！今年も絶対行くからね！」とイベントが定着していて参加をとても楽しみにしている事を実感しました。少子化が進む中、五年前よりも四〇〇名以上の参加者が増えており、継続して実施



していくことの重要さと、このようなイベントが市内の多くの子育て家庭に望まれているのだと感じた一日となりました。

ほぐまつり

島田市民間保育協会

令和五年十一月一日(土) 島田市おび通りにて、「ほいくまつり」を開催いたしました。「あそびコーナー(親子制作、さかなつりゲーム)」、「食育コーナー(アレルギーレシピの紹介、食育クイズ)」、「すくすく通信コーナー(保育の情報発信)」、「赤ちゃんコーナー(手形・足形アート等)」を加盟園一五カ園で担当し、どのコーナーも親子で楽しむ姿が多く見られました。また、ステージでは保育者によるお楽しみコーナー(大型絵本・紙芝居、親子リズム、パネルシアター、楽器遊び)を行い、ラストはみんなで「ジャンボリズムキー」を踊り盛り上がりました。島田市のマスコットキャラクターのおしまちゃんも登場し、会場を盛り上げてくれました。コロナ禍による中止があり四年ぶりの開催となりましたが、天気にも恵まれ予想を超える来場者が訪れる盛況でした。今回の開催に於いて商店街の皆さま、島田市職員方々のご理解・ご協力をいただき、また島田市子育て支援ネットワークの皆様からは授乳・おむつ替えテントを貸し出していたいただきました。このようなイベントも含め、今

後も地域の皆様との交流を深め、子育て支援の拠点として各施設の魅力や役割を発信していきたいと思えます。



保育フェスタ2023

浜松民間保育園長会

令和五年十一月二十六日、アクトシティ浜松展示イベントホールにおいて「保育フェスタ

タ二〇二三」を開催しました。来賓に浜松市子ども家庭部幼児教育・保育課の井川課長、浜松市議会須藤副議長をお迎えしました。途中、中野浜松市長も視察に訪れ、園児や保護者との交流をしてくださいました。一日を通して加盟園の職員、園児、保護者を含め三〇〇名を超える来場者で賑わいました。

メインステージでは、開会式で当会の中村会長が挨拶をし、来賓からも祝辞をいただきました。その後、加盟園に子どもを預ける保護者のバンドが演奏をしたり、加盟園の有志の職員による体操や、楽器・ハンドベル等の演奏を行いました。

また、加盟園に所属する青年部のブースでは「わらべうた」や「親子運動遊び」を行いました。



浜松市内にある保育士養成校の三大学がそれぞれ企画を用意してくれました。聖隷クリストファー大学は、ブラックライトで光る飾りつけをした段ボールハウス。常葉大学は、様々な素材を使って製作を行うコーナー。浜松学院大学はバスボムや洗濯のりを使用してセンサリー作り。どの大学も、親子で一緒に楽しむ内容を学生と先生たちで考えてきてくれ、参加者はとても満足そうにしていました。

その他、子育ての悩みに現役の園長が応じる「子育て相談」や、加盟園で生活・遊び・食育の写真を一枚提供し「写真の展示」を行いました。また、協力していただいた浜松磐田信用金庫の職員の方は「一億円の重さ体験」等の企画を行いました。今後もフェスタを継続し、加盟園が行っている子育て支援の広報と親子で楽しめるイベントを提供し、地域の子育て世代を応援してまいります。



予算対策委員会

委員長 中里保育園 青野貴芳

今年度は、国が保育士の配置改善案を提示し、ようやく重い腰を上げたかと感慨深いものがありました。

しかし、その内容とはいえば、十分と云うには程遠いと言わざるをえません。

先号で、本年度の県への要望事項をお伝えしましたが、そこに記したように、基本的な職員配置人数以外にも、諸観点から、さらに手厚い配置が必要であり、保育関係者であれば、その切実さは納得していただけるものと思います。

また、保育業界には、配置基準以外にも、保育士不足、少子化や人口減少を背景とした定員割れ、物価高騰、キャリアアップ研修等々、さまざまな問題を抱えており、いずれも園を安定的に継続していく上で、大きな危機となりうるものです。

改善に向けて状況が一步でも進むよう、九月四日には、県議員の方々にも要望を強くお伝えしました。

財政的な問題が大きく立ちはだかることであり、なかなか具体的な改善には至りませんが、粘り強く、繰り返し声を上げていくこと

が未来の成果につながると信じております。今後も、保育界の抱える問題についてアンテナを張り、皆様の声を反映していけるよう努めます。

海外交流委員会

委員長 認定こども園 原町保育園 鶴谷由美子

感染症対策も緩和され、今年度は国内ではありますが、海を越えて北海道にある公私連携幼保連携型認定こども園「はやくた子ども園」への視察研修が実現しました。こども園だけではなく小中一貫義務教育校まで見せていただきました。

来年度は四年ぶりとなる海外研修の実施を計画しています。研修先は「ベトナム」です。

日程は令和六年六月二日から六日の予定です。諸外国における保育制度や保育の実態を直接その国に降り立ち学びたいと考えています。

教育にかかわる行政との話し合いや施設見学をしながら、日本とは違う文化や生活に触れ見聞を広めると共に、研修期間を共に過ごす仲間との親睦を深め、有意義な時間になるよう計画しています。

具体的な募集のご案内は、令和六年三月ご

りとなりますので多くの皆さまにご参加いただけますよう、よろしくお願いいたします。

少子化等問題検討委員会

委員長 認定こども園 原町保育園 鶴谷由美子

毎年十一月は児童虐待防止推進月間と定められており、静岡県でも十八日に「児童虐待防止静岡の集い」が静岡市民文化会館中ホールで開催されました。講演会とパレードに、静岡県保育連合会会長、静岡市内の園長などが参加しました。講演会では一般財団法人児童虐待防止機構オレンジCAPO理事長である島田妙子氏から、自身が児童養護施設で育った経緯や本当の意味での児童虐待の予防とは何か、実体験から感じた話を聴くことができました。

静岡県内の地域子育て支援の関心と理解を求める啓発活動を推進する「子育て支援啓発活動事業助成金制度」を実施しています。ぜひ助成金を活用していただきたいと思えます。また、啓発品について「あいあいホットマーク」のクリアファイル、付箋セット、ピンバッジがありますので、協力金へのご支援もよろしくお願いいたします。

研修委員会

委員長 桜木こどもの森 岡田博次

七月十八日に保育士等養成校との意見交換会が開催されました。本年度から保育連合会理事も参加し、より活発な意見交換会となりました。別途、詳しくご報告いたします。

これまでに左記の研修会が終了しています。主な講師等のご紹介です。

● 育児相談研修会（十一月一日）

会 場 静岡音楽館AOI

主な講師 有沢孝治氏（東海大学教授）

● 民間園長研修会（十一月二十二・二十一日）

会 場 熱海後楽園ホテル

主な講師 大森康雄氏（私保連単価検討部会長）・脇淵竜舟氏（かみいしづこどもの森園長）

● 施設長研修会（十二月十九日）

会 場 グランシップ静岡

主な講師 田宮縁氏（静岡大学教授）・村中直人氏（子ども・青少年育成支援協会代表理事）

今年度内の今後の計画は次の通りです。

○ 新規採用予定職員研修会（二月）

来年度は、こども誰でも通園制度の本格実施や二〇二五年問題等へ対応するべく、研修

内容を検討中です。ご参加お待ちしております。

キャリアアップ委員会

委員長 聖心保育園 吉川慶子

今年度予定していた保育士等キャリアアップ研修で静岡県から受託した研修は、eラーニングも含め無事実施することが出来ました。

受講者約三千名の方へ修了証を発行する予定です。ただ今年度も受講できなかった方が相当数出てしまいました。予算上受け入れ枠に制限がありすべての希望者を受け入れられない状況が続いていますが、県保連でも県の指定を受け会員向けのeラーニングでのキャリアアップ研修を有料ですが開催し約四百名の受講者の方が受講しています。

保育の質の向上のために資する研修になるよう次年度に向け、県担当者調整しながら計画を進めているところです。

また、こども園限定ですが処遇改善加算対象の研修も実施されています。それぞれ計画的に受講を進めていってくださいますよう、今後ともご理解とご協力をお願いいたします。

青年部会

部会長 すみれ認定こども園 後藤恭佑

あけまして、おめでとうございます。本年もよろしくお願い致します。さて、「こどもまんなか社会」の実現に向けて、だれでも通園制度をかきりに、新しい情報がいくつも出ています青年部としましてもいち早く情報をとりいれ、次年度、またさらにその先を見越した経営戦略に発展すべく、様々な機会、人、交流を持ちながら発信また、とりいれていきたいと思えます。さらに益々青年部会の活動も活発になっていきます。幼児教育、人材確保、待機児童問題等々、問題は山積みですが、青年部会は「サードプレイス」第三の場所ということをテーマに様々な取り組みや交流をしていきます。実行可能な組織として、引き続き会員の皆様にはご理解とご協力をお願いいたします。

● 実績報告

○ 令和五年度 西部支部青年部研修会

期日 令和五年七月二八日

○ 全国私立保育連盟青年会議 広島大会

期日 令和五年十一月一日・二日

○ 令和五年度 東部支部青年部研修会

期日 令和五年十一月十一日

青年部会活動報告記

今回は、保育連合会青年部の活動をいくつかご紹介いたします。青年部ってどんなところ？どんな活動をしているのか、ご紹介いたします。現青年部会員の皆様も、まだ会員でない皆様もぜひごらんください。ご興味の方は保育連合会HPからも会員登録ができます。

西部支部研修会（青年部西部支部）

令和五年八月四日（金）にこども園、保育園に勤める男性職員を対象に交流研修会を実施しました。講師にサイボウズ株式会社営業人材開発部 勝沢賢一氏を講師にお迎えし、「コミュニケーション力アップによるチームワーク向上セミナー」と題して、ご講演いただきました。講演では主に、コミュニケーション力アップのためには①聞くこと（傾聴すること）②伝えること（情報共有）③ともに考えること（問題解決）の必要性をお話いただきました。

次に、園内の職場環境が安心だと思える場になること、職員同士気軽に情報共有しあえること、ポジティブな声掛けや積極的なレスポンスをすることで、チームワーク力がアップし職場環境の向上が図られることを資料でわかりやすく説明していただきました。

後半はグループで、実際の職場環境やチー

ムの良い点や改善点を整理し情報を共有するなかで、問題解決のために必要な方法は何かを話し合いました。どのグループも時間を忘れるくらい議論が白熱していました。

最後に講師から、チームとして問題があることは悪いことではなく、理想があるから問題があるのであり、個人・チームの成長には問題の認識は不可欠であると提言をいただきました。参加者の皆さんからは、本研修会で得た学びを自園で実践し、チームワークの向上につなげていきたいとの声が上がっていました。

東部支部研修会（青年部東部支部）

今年度の東部支部研修会は、少し趣向を変えて、「ヨガで心も体も健康に」と題して、ヨガインストラクターの渋谷トモコ先生にお越しいただき、研修会を行いました。ヨガ自体



はじめての方、経験済みの方、はじめは少し緊張した面持ちでしたが、研修開始からすぐにリラックスした状態からふだんつかっていない筋肉や細胞を活性化させ、息を吹き込むようにして、体を起こしていく、そ

んなイメージをもった時間がながれていきました。筆者自身もヨガを初めて体験しましたが、やる前とやった後では体の軽さが全然違う実感がありました。渋谷先生のヨガから、保育士の仕事は「体が資本」とはよくいいますが、体の不調は心から、心の不調は体に出る、どちらも大事だからこそ、ヨガは整えるという意味でも、保育士だけでなく、色々な方々に体験していただきたい研修でした。

令和五年度青年部視察研修会

十一月一日、二日、全国私立保育連盟青年会議が広島にて行われました。県内からも実に三〇名程の参加者があつたと聞いています。各分科会や記念講演、国の情勢にいたるまで大会のテーマである「こどもたちと平和な未来を」にふさわしい大会でした。アフターコロナを意識しながら人と人との出会いを大切にしていき、



保育を取り巻く環境と新しい時代に対応していく為にも他団体の青年保育者との情報共有は、新しいコミュニケーションの構築に有意義なものだと改めて実感いたしました。

東部支部

支部長 中里保育園 青野貴芳

一、総会及び施設長研修会

期日 令和五年五月九日(火)
会場 プラサヴェルデコンベンションホールB
講師 鴨野博道氏
(兵庫縣灘中・灘高等学校教頭)

テーマ 「主体性を尊重する教育―環境としての灘校―」

二、行政部会(書面回答)

期日 令和五年八月二十一日
テーマ 入所要件関係 他

三、中堅保育者研修会

期日 令和五年八月二十三日、二十四日
会場 箱根の里・プラサヴェルデ四〇二

四、青年部会研修会

期日 令和五年十一月十一日
会場 プラサヴェルデ四〇一

五、民間部会県外施設視察研修会

期日 令和六年一月十一日、十二日
視察場所 愛知県知多郡

あしたがすき保育園

六、新規採用予定職員研修会

期日 令和六年二月二十七日、二十八日
会場 三島市立少年自然の家

七、保育所職員研修会(リモート)

期日 令和六年一月二十三日
令和六年二月七日

八、保育の日研修会

中止

中部支部

支部長 なかよし保育園 北山茂

一、総会及び施設長研修会

期日 令和五年五月十七日(水)
会場 静岡県総合社会福祉会館
講師 常葉大学短期大学部保育科
教授 遠藤知里 氏

テーマ 「身近な生活環境の中で子どもたち
に体験してほしいこと」

二、職員研修会

期日 令和五年六月七日(水)
会場 日本平動物園
講師 日本平動物園飼育係長 岡村創 氏

テーマ 「五感を磨き、高い感性の保育者を
目指して」

三、中堅保育者研修会

期日 令和五年九月十三日(水)
会場 静岡県総合社会福祉会館
講師 保育環境アドバイザー 井上さく子 氏

テーマ 「子どもから学ぶ保育を語り合おう」

四、フォロワーアップ研修会

期日 令和五年十月二五日(水)
会場 静岡県総合社会福祉会館
講師 コーディングネットワーク静岡
代表 土方良子 氏

テーマ 「メール研修」がんばっている君たちへ

五、新規採用予定職員研修会

期日 令和六年二月十四日～十五日
会場 焼津青少年の家

西部支部

支部長 ルンビニこども園 岡田泰稔

一、総会及び施設長研修会

期日 令和五年五月十六日(火)
講師 富山・イタズラ村・子ども遊ばせ隊
早川隆志 氏

テーマ 「大人にこそ必要な子ども力&遊び力」

二、中堅職員研修会

期日 令和五年六月二十一日(水)
講師 医学博士・タレント 佐藤弘道 氏
テーマ 「子どもたちの笑顔のために
〜十年先の健康と運動のすすめ〜」

三、男性職員研修会

期日 令和五年八月四日(金)
講師 サイボウズ(株) 営業本部
営業人材開発部 部長 勝沢賢一 氏
テーマ 「コミュニケーションUPによる
チームワーク向上セミナー」

四、小児医療研修会

期日 令和五年十一月九日(木)
講師 静岡県感染症管理センター
センター長 後藤幹生 氏

五、初任職員研修会

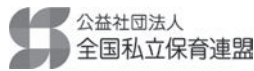
期日 令和五年十一月二十九日(水)
講師 ケロポンズ
内容 あそびうたセミナー

六、新規採用予定職員研修会

期日 令和六年二月二十一～二十二日
会場 三ヶ日青年の家

各支部だより

【全私保連推奨】各種団体保険制度



ほいくのほけん・こどもえんのほけん

保育施設向け 4月1日～1年間（中途加入可能）

「園賠償責任保険（新型コロナウイルス等対応費用補償特約付帯）」
「園児団体傷害保険（学校契約団体傷害保険）」など、保育施設における最大リスクを補償する1番の主力保険制度です。

やくいんのほけん

社会福祉法人向け 8月1日～1年間（中途加入可能）

社会福祉法人の役員の業務遂行に関する賠償リスクやマスコミ対応費用等のレピュテーションリスクに加えて、雇用関連トラブルによる法人への賠償リスクもオプション付帯可能な保険制度です。

Web
加入
可能

えんじのほけん

在園児向け商品 4月1日～自動更新（中途加入可能）

「園内外問わず24時間お子さまをお守りする傷害保険」「扶養者に万が一の場合の育英費用補償」など手厚い補償内容に加え、一般的な保険商品と比較して約65%の割引となっているため非常に割安な保険制度です。

Web
加入
可能

しょうがくせいほけん

卒園児向け商品 4月1日～自動更新（中途加入可能）

24時間のおケガ等からお守りにすることに加え、自転車条例で義務化されている個人賠償責任保険など卒園後のリスクを補償します。本商品も一般的な保険商品と比較して約30%の割引となっているため割安な保険制度です。

Web
加入
可能

取扱
代理店

有限会社ゼンポ

TEL：03-3865-3881
FAX：03-3865-2806



引受
保険会社

東京海上日動火災保険株式会社

担当課社：公務二部 文教公務室 TEL：03-3515-4134

このチラシは、このご案内には施設賠償責任保険・生産物賠償責任保険・学校契約団体傷害保険特約付帯傷害保険・会社役員賠償責任保険・レピュテーション費用保険（レピュテーション費用特約条項付 費用・利益保険）・雇用関連賠償責任保険の概要・団体総合生活保険（傷害保険）の概要についてご紹介したものであり、全ての事項を記載しているものではありません。保険の内容は各保険制度のパンフレットをご覧ください。また、ご加入にあたっては、必ず「重要事項説明書」をよくお読みください。詳細は契約者である公益社団法人全国私立保育連盟にお渡しする保険約款によりますが、ご不明点がありましたら、取扱代理店または保険会社までお問い合わせください。

連絡先



公益社団法人全国私立保育連盟指定／東京海上日動火災保険株式会社代理店

有限会社ゼンポ

TEL 03-3865-3881
FAX 03-3865-2806

〒111-0051 東京都台東区蔵前4-11-10全国保育会館4階

子どもの育ちが見えれば、明日の保育がもっと豊かに！

全国私立保育連盟推奨（総代理店）

導入費用
無料



きっずノート

「きっずノート」は、文字だけでは伝えきれない園での豊かな活動、子どもたちが自ら学び・育つ姿を「見える化」するアプリです。

保育者の
業務
省力化

子どもの
学び・育ちの
見える化

緊急時の
連絡手段

正式利用お申込みの全施設

最大9ヵ月

利用料無料！

契約更新後も料金そのまま！

年間一括利用料6万円

利用しやすい価格に
なりました！

ひと月あたり
5,000円（税別）

※ただし、事業者利用規約の定めにより、将来において利用料金に変更になる可能性がございます。

詳しくはお問い合わせください。

<担当者:菅沼、佐藤>

印刷物からノベルティまで

おまかせください。

チラシ

パンフレット

冊子

メモ帳

ふせん

カレンダー

紙加工品のことなら大日三協へ

大日三協は、FSC 森林認証 (COC 認証) を取得し、森林認証紙の取り扱いをしています。



大日三協株式会社 静岡県静岡市葵区流通センター12 番1号
TEL:054-265-5501 FAX:054-265-5502

さまざまな危険からお子さまをお守りする

2023年8月現在の内容です。

『キッズガード』(園児総合保障制度(こども総合保険))

AIG損害保険株式会社

日々大きく成長されるお子さまたちの行動には予測できないことも多く、何かとお心づかいのことと存じます。いつ、どこで何が起るのか予想もつかない事故の、確かな“おまもり”として本制度をお届けいたしております。

S-230555(202408)

静岡支店 〒420-085 静岡市葵区黒金町20-1
富士火災静岡ビル5階
Tel: 054-255-5141
浜松支店 〒430-771 浜松市中区板屋町111-2
浜松アクタワー15階
Tel: 053-454-0321
沼津支店 〒410-080 沼津市大手町2-10-14
Tel: 055-963-8081

未来は、あそびの中に。



JAKUETS



さあ、ワクワク探しの旅に出かけよう！ www.tobutoptours.co.jp



“Warm Heart”
～ありがとうの連鎖を～



東武
トップ
ツアーズ

静岡支店

〒420-0859

静岡県静岡市葵区栄町3番1号

あいおいニッセイ同和損保静岡第一ビル10F

TEL.050-9001-9697 FAX.054-252-9509

OA機器・システム商品・オフィス家具

経費削減のお手伝い

見積・相談無料



株式会社 Net



Net 沼津

検索

TEL 055-939-6100

沼津市米山町 12-15

PAL ANGEL
園児支援システム

子ども・子育て支援制度対応・ICT補助金対象システム

「PAL ANGEL (パルエンジェル)」

ICカードで簡単操作の登降園管理、園務日誌、保育計画、報告書等、多様化する 保育園の事務作業をサポートいたします。クラウドサービスで安心です！

園の紹介、情報公開は簡単便利な
ホームページで！
「らくらく更新web」

苦情解決、事業報告、行事予定、アルバム等が
園のパソコンで簡単に更新できます！

簡単操作のメール配信システム
低価格で多機能！
「チェックインシステム」

緊急連絡他、アンケート調査、質問回答集計、閲
覧状況、受信状況も把握できます！



株式
会社

データサービスセンター

〒411-0912 駿東郡清水町卸団地63-2
TEL:055-972-7717 FAX:055-976-1057

<http://www.dataeast.co.jp> E-mail:h-sanada@dataeast.co.jp

しずおか保育士・保育所支援センターでは、
保育の仕事を探している方と
人材を求めている保育所との
橋渡しをします。

静岡県・静岡市
委託事業

求職者との個別相談、園の見学や体験事業、就職フェアやセミナーなどを通してお仕事を紹介をしています。



ネット経由による
求人登録のメリット

全国の貴園・貴事業所に興味のある方が求人を
24時間いつでもみることができます。



福祉のお仕事
ホームページ

「福祉のお仕事」からインターネット
経由で求人の申請ができます。

<https://www.fukushi-work.jp/>



お問い合わせ

福祉人材無料職業紹介所・厚生労働大臣許可



社会福祉法人
静岡県社会福祉協議会

中西部

静岡県社会福祉人材センター
しずおか保育士・保育所支援センター

TEL. 054-271-2110

- ☎ 420-0856 静岡市葵区駿府町1-70
静岡県総合社会福祉会館「シズウエル」3階
- 🕒 【開所】月～金曜日(8:30～17:00) ※祝日除く

東部

静岡県社会福祉人材センター
東部支所

TEL. 055-952-2942

- ☎ 410-0801 沼津市大手町1-1-3 沼津産業ビル2階
- 🕒 【開所】月～金曜日(8:30～12:00/13:00～17:00)
※祝日除く



しずおか保育士・
保育所支援センター
ホームページ



編集後記

文章を書くのは難しいとあらためて感じました。日々反省です。

静岡市 麻機保育園 鈴木克明

能登半島地震、まさかでした。能登半島の子どもたち頑張れ!

御殿場市 すみれこども園 鷹野一広

今回の編集は、広報三年間行った中で一番大変でしたが、楽しかったです。

御殿場市 神山認定こども園 本崎泰人

子どもたちの笑顔は平和あってこそ。これから良い一年になりますように。

浜松市 まつのき保育園 竹内映晴

だいぶ慣れてきましたが、もう少し技術の向上を目指します。

湖西市 真愛三ツ谷こども園 松浦弘太郎

年をとるごとに何故か花粉症が改善されています。喜んでいいものかどうか...

島田市 認定こども園 エルフのゆめ 平野貴久

嫁に「九九%離婚」という本を誕生日に貰いました。新年おめでとうございます。

静岡市 ほのぼの保育園 坂井玄気

お正月から日本中で大変な事が起こっています。これからは平穏に暮らせるように祈るばかりです。今年もよろしくお願ひします。

静岡市 城北保育園 松田剛

年末年始⑩連休は家族旅行を楽しみ、掃除もほぼせずのんびり。旦那さんも何も言わず笑。もう当面こんなことないだろうなあ...

磐田市 中泉保育園 伊藤夫美

文書が見えにくくなってきました。今年こそ、眼鏡を老眼対応に買い替え、趣味を増やして楽しみたいと思います!

静岡市 麻華こども園 中原美華

わんぱくひろば



「まいく静岡」92号

発行日：令和6年3月15日発行
発行者：一般社団法人静岡県保育連合会
420-0856 静岡県静岡市葵区駿府町1-70 静岡県総合社会福祉会館
TEL：054-251-8873 FAX：054-253-4226
印刷所：大日三協(株)